

高砂市および近隣地域でお暮らしの皆様へ



みなさん、ご存知ですか？ 現在の**2.4倍規模の石炭火力発電所**を 高砂市に建設予定なんです！



現在高砂市梅井で稼働しているJパワー（電源開発株式会社）の石炭火力発電所を隣接地に2.4倍の規模で建て替えを行おうとする計画があります。現在、手続中ですが今年中（2017年）に手続を終えて来年（2018年）から建設に向かう予定です。

現在の石炭火力発電所
高砂市梅井6丁目
1,2号機 合計50万キロワット

計画中の石炭火力発電所
現在の炉の隣接地
新1,2号機 合計120万キロワット

現在のスケジュール

2017年 3月末頃 環境アセスメントの予定準備書提出
その後住民や行政の意見を聞き許可へ
パブリックコメントや説明会で住民の意見が言える最後のチャンス！

2018年 1号炉建設開始予定

2021年 1号炉完成予定
その後6年で2号炉へ

石炭火力発電所の3つの大きな問題点

- (1) ぜんそくや肺がんなど健康被害が心配
- (2) 電力は足りている 投資がムダになるのでは？
- (3) 世界の潮流は「脱化石燃料」なのに…気候変動の加速に

詳しくは裏面、HPへ
パンフも準備中です

私たちができること

建設計画があることを
まわりの人に知らせる

周りの人に口コミや電話で。そしてSNSなどでも拡散しましょう。このチラシをまいてくれる方も大募集です

環境アセスメントの
意見に参加する

3月末までに発表される「準備書」に対して市民も「意見」を文書で提出することができます。Jパワーの説明会も開催されますのでぜひ参加してご意見を出してください。意見の数が多いほど力になります。また高砂市長も意見を出すこととなりますので、市民の意見を反映した意見書となるように求めましょう。

計画について勉強する

石炭火力発電所の問題点などを3月19日の集まりで専門家から詳しく聞きましょう。

日時 **3月19日**（日曜日）午後2時
場所 高砂市中央公民館
tel 079-447-2247（伊保東1-18-61）
講師 気候ネット 山本元さん
石炭火力の問題点および環境アセスメントに対する意見書についてなど

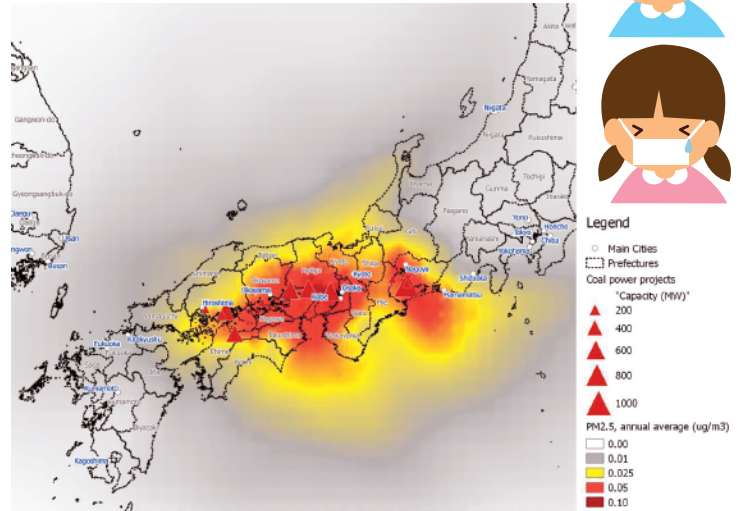
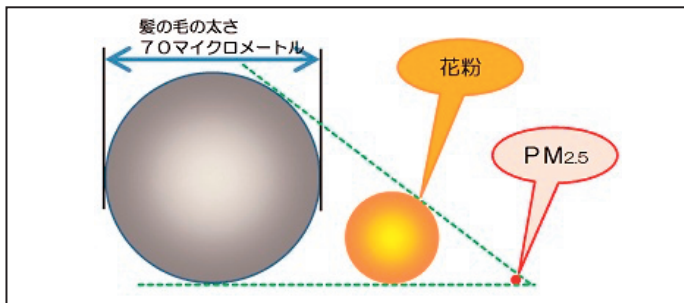
参加費無料（カンパ制）



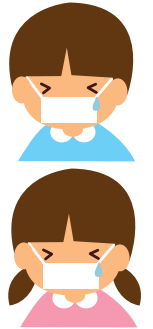
3つの大きな問題点 では何が問題なのでしょうか？

(1) ぜんそくや肺がんなど健康被害が心配 ラウリレポートで大気汚染の増大が明らかに

大阪・兵庫エリアの15件(そのうち2つは高砂市)の計画がすべて稼働した場合、大気汚染や健康被害が増大すると指摘。特にPM2.5という小さな汚染物質が「ぜんそくや肺がん」を引き起こす危険性があるとしています。いまでも高砂市は呼吸器系疾患の死亡率が兵庫県全体より高いとも指摘されています。(高砂市データヘルス計画より)



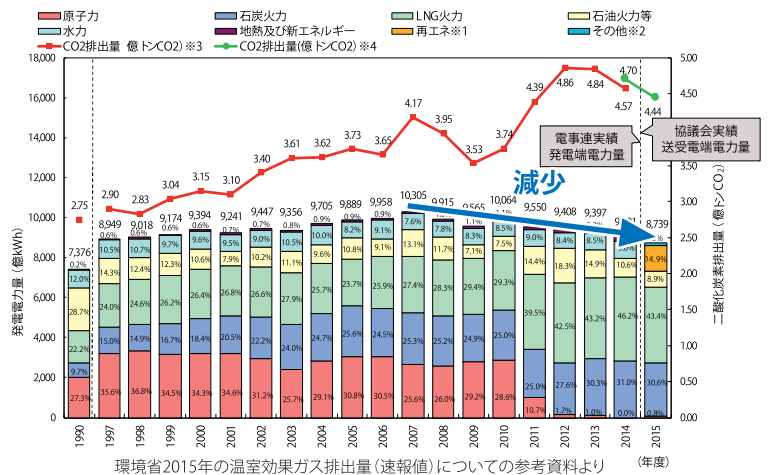
対象石炭火力発電所からの排出により増加する年平均PM2.5濃度(μg/m3)
ラウリ・ミルヴィエタ(Lauri Myllyvirta)「新規石炭火力発電所による大気環境および健康への影響」より



(2) 電力は足りている 投資がムダになるのでは？

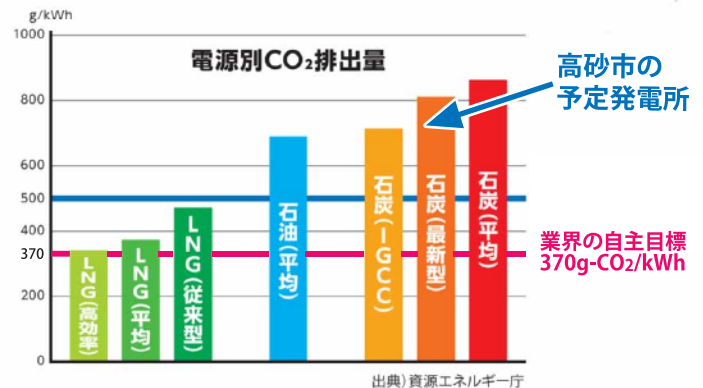
水力発電、天然ガスなどの火力発電、そして急速に伸びている「再生可能エネルギー」による発電により現在では日本の電力は十分まかなえています。

「節電マインドの浸透と省エネ家電の普及により」(エネルギー白書)2007年をピークに日本の電力総消費量は減少しているのです。現施設の2.4倍もの規模の石炭火力発電所は企業にとっても過剰な投資になりかねません。そのような流れから高砂市と同時期に着工予定されていた赤穂市の2基の石炭火力発電所(関西電力)は今年1月に事実上中止となりました。Jパワーも考え直すべきです。



(3) 世界の潮流は「脱化石燃料」なのに…気候変動の加速に

パリ協定とは日本を含む196か国・地域がパリで決めた「世界中から気候変動(地球温暖化)の原因となるCO2を減らそう」という約束です。昨年11月4日にはこの約束が有効となり、世界中の国がこの枠組みに参加することとなりました。世界は「節電」と「再生可能エネルギー推進」に動いています。高砂市の2基をはじめ、全国で48基の石炭火力発電所の建設はこの世界的な流れに明らかに逆行します。



※1 石炭発電の使用電力量あたりのCO2排出量は、最新型でも約800g-CO2/kWh。一方、天然ガス火力発電所は、最新コンバインドサイクルで約350g-CO2/kWh。
※2 石炭ガス化複合発電(IGCC)の使用電力量あたりのCO2排出量は、約700g-CO2/kWh程度。

石炭火力発電を考える
この会は市民有志で発足した団体です。私たちは賛成・反対以前にまず「建設計画があること」を高砂市や周辺の市民が知ることが重要だと考えています。その上でどういうあり方がのぞましいか、その道を探りたいと思います。

発足の様子が神戸新聞にも掲載！
神戸新聞 1月23日

石炭火力発電所の問題点について話す環境保護団体の山本元さん(ユー・アイネットセンター)